

青少年の問題行動・非行・犯罪・被害の未然防止と子ども・若者に関する相談・支援についてのお知らせです。

高  
島  
市

# 少年センター・あすくるだより

高島市新旭町北畑45番地 | TEL:0740-25-8556

## 絆としつけ

高島警察署長 民徳 隆

平素は、警察業務各般にわたり、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、少年補導員の皆様や「高島市少年センター」、「あすくる高島」をはじめ、青少年の健全育成にご尽力いただいております皆様に改めて敬意を表する次第です。

私は12年前に高島警察署の生活安全課長として勤務させていただきましたが、今、この風光明媚な高島で再び勤務をさせていただいていることに幸せを感じているところです。

さて、平成元年に2,230人だった県内の非行少年も、昨年は582人（暫定値）と激減しました。これは、様々な方が少年問題に取り組んでいただいた結果で大変喜ばしいことなのですが、子供のストレスは外側に向けば非行に、内側に向けば不登校や自殺になると言われております。不登校や子供の自殺が目立つ現在、そういう意味では、少年のストレスというものは変わっていないように思います。この現象には社会構造の変化が大きな要因と言われており、いわゆる闇バイトや薬物事犯、性犯罪被害などSNSに起因する非行や被害が増えているのも社会の変化が影響を与えていると思います。

ところで、私は警察人生の中で30年以上を少年警察に携わらせていただきました。これまで様々な場面で、地域の皆さんに話をさせていただく機会がありましたが、よく話すのは「絆としつけ」の話です。これまで多くの少年と接してきて、子供たちに何が必要かを考えたとき、家族、地域、学校での絆がだんだんと希薄化しているように思うのです。周りとのコミュニケーションが不足している子供は、自分でバーチャルの世界に入り込んでしまい寂しい目をしています。自分の思いをバーチャルの世界でしか吐き出せないようです。

また、しつけがなされていない子供は大人になって人間関係に苦労しているように思います。集団の中で一番難しいのが人間関係で、人間関係を築けない大きな要因にしつけ不足があると言われております。昔は家庭や地域社会で当たり前のように行われてきたしつけがだんだんと失われ、大人になって苦労している気がするのです。

こんな時代だからこそ、あえて昔、行われてきたバーチャルの世界ではないリアルなコミュニケーションが大切だと思います。時代おくれといわれてもこんなことを大切に思いながら、日々の職務に励んでいます。どうか、皆様には、顔見知りの子供たちに挨拶だけでも良いので目を見ながら声をかけてやって欲しいと思っております。

先日、機会があって市内の小学校にお邪魔しました。その時の子供たちのキラキラとした目と何とも無邪気な会話を聞いて、私自身、心が洗われる気がするとともに、まだまだ、この高島の子供たちは、リアルなコミュニケーションが失われていないと微笑ましく見ていました。

高島という地域は本当に良いところです。

時代が変わろうと、時代おくれといわれようと、「絆としつけ」を大切に、高島という素晴らしい環境で育てられること、育ててもらっていることに感謝し、次世代を担う心豊かな子供たちが育ってくれることを願っています。

薬物乱用の危険を理解していますか？

## 今、危険度が増しているのは大麻です！

～高島の子どもたちを薬物乱用から守るために～

『麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動パンフレット』（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/00147460.pdf> を加工して高島市少年センターで作成

「薬物だなんて…。」高島の子どもたちには関係ないだろうと思っていませんか？

20歳未満の薬物乱用のきっかけは、「好奇心」や「不安」、「友達から誘われた」「仲間はずれが怖くて」など気持ちの面がほとんどだと言われています。「ちょっとだけなら…。」と軽い気持ちで手を出すと、気づいた時には薬物から抜け出せなくなってしまうのです。

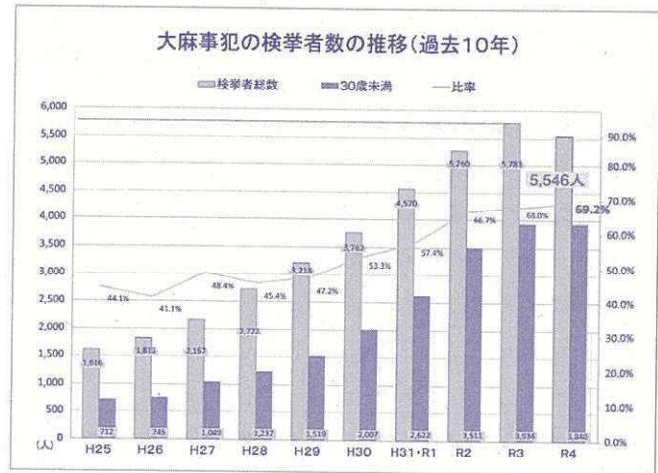
●令和4年には、5,546人が検挙され、そのうち約7割にあたる3,840人が青少年であり、青少年を中心に大麻の乱用の裾野が拡大しています。

●インターネット等において、「有害性がない」などの誤った情報が氾濫しており、青少年の大麻乱用の拡大につながっていると推測されます。

●記憶に新しいところでは11月中旬、大麻グミ（HHCHを含む商品）を摂取した後に救急搬送されたケースが複数件報告されています。11月22日、厚生労働省は、危険ドラッグの成分である合成カンナビノイド「HHCH」を「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の「指定薬物」として新たに指定する省令を公布し、12月2日に施行されました。

幻覚成分を濃縮させた「大麻ワックス」や、大麻を含んだ食品（クッキー、チョコレート）などの摘発も相次いでいます。

また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に大麻が含まれていることがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



### 医薬品も間違った使い方は乱用です！

医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。

また、処方された薬を他人に譲ることや、偽造品などのリスクが高い海外で販売されている医薬品を安易に個人輸入することは、避けましょう。



### 子どもを薬物乱用の危険から守るためには・・・！

スマートフォン、タブレット等は生活に欠かせないものとなってきています。しかし、情報ツールの普及により、未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が複数報告されているのも事実です。子どもたちが迷ったり困ったりしたときに相談できる大人がいることが鍵となります。何でもダメと否定するのではなく、子どもたちの声に耳を傾け、小さな変化を見逃さないよう、周りの大人が日々注意深く見守ることが大切です。子どもが自分自身を大切に成長していけるよう、保護者や周りの大人みんな、高島の子どもたちを薬物乱用から守りましょう。

# 高島市少年補導委員会 活動紹介

高島市少年補導委員会は、高島警察署長ならびに高島市長から委嘱を受けた45人で構成されています。青少年の健全育成と非行・犯罪被害の未然防止をめざし、高島警察署・高島市少年センター、関係機関と協力して活動を展開しています。

駅周辺や大型量販店、コンビニ等で愛のまちを  
**街頭補導**  
夏祭りでの見守り活動

犯人の特徴を子どもたちに言ってもらいます  
**ロールプレイ  
(役割演技)**

**ロール絵本**  
ロール絵本の裏でセリフ合わせ

うたこちゃんが車に乗せられそう  
**うたこちゃん  
危機一髪**

赤ずきんちゃん  
誘拐されないための「5つのおやくそく」  
**赤ずきんちゃん  
のおつかい**



## 啓発活動「たかしまおでかけ隊」

### 「誘拐防止教室」

大型ロール絵本を使った「うたこちゃん危機一髪」、「赤ずきんちゃんのおつかい」などいくつかの演目があり、保育園・幼稚園・こども園、小学校等を対象として主に長期休業の前に実施しています。

### 「薬物乱用防止教室」

グループワークやロールプレイなどを盛り込み、発達段階に合わせた内容で小学生から高校生までを対象として実施しています。

# 高島警察署管内 少年非行のあらまし

(数値は高島市内で検挙・補導された少年の延べ人数で市外の少年も含まれています。)

## 【少年の検挙・補導状況(人)】

高島警察署統計資料(令和5年12月末暫定値)より

区分	年別	令和5年	令和4年	前年比
刑法犯少年	犯罪少年	6	4	+ 2
	うち女子	0	0	± 0
	触法少年	3	1	+ 2
	うち女子	0	1	- 1
	小計	9	5	+ 4
	うち女子	0	1	- 1
特別法犯少年		1	1	± 0
	うち女子	0	0	± 0
不良行為少年		37	29	+ 8
	うち女子	6	8	- 2
合計		47	35	+ 12
	うち女子	6	9	- 3

### 《用語の説明》

- 犯罪少年  
14歳以上20歳未満の少年で罪を犯した少年。(交通法犯を除く)
- 触法少年  
刑事責任のない14歳未満の少年で、刑罰法令に触れる行為をした少年。(交通法犯を除く)
- 不良行為少年  
不良行為(罰則の適用はないが、喫煙等少年の健全育成上やめさせるべき行為)をしており、そのまま放置すると非行に進む危険性がある少年。

- ・犯罪少年と触法少年を合わせた刑法犯少年は6人で、ここ数年微増傾向にあります。
- ・不良行為少年は37人で、前年同期に比べ8人増加しています。

## 【不良行為少年・学職別補導状況(人)】

高島警察署統計資料(令和5年12月末暫定値)より ( )は女子の内数

学職別	行為別	喫煙	深夜はいかい	暴走行為	怠学	刃物等所持	家出	飲酒	粗暴行為	金品持ち出し	不健全娯楽	不良交友	総数	前年
未就学児									1 (1)				1 (1)	0 (0)
小学生									7 (1)				7 (1)	2 (2)
中学生									2		1		3 (0)	4 (1)
高校生	1	9				1 (1)	1 (1)		5 (1)				17 (3)	8 (5)
その他学生	1												1 (0)	7 (0)
有職少年	5						1						6 (0)	7 (0)
無職少年	2 (1)												2 (1)	1 (0)
総数	9 (1)	9 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	15 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (6)	29 (8)
前年	5 (0)	9 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	7 (0)	5 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	29 (8)	

- ・ここ数年、高校生の深夜はいかい(午後11時~翌朝5時の時間帯の外出)の割合が高くなっており、学職別でも最も多くなっています。
- ・行為別では、粗暴行為が前年より3倍に増えており、最も多くなっています。

## 子ども・若者支援センター“あすくる高島”

〒520-1521  
高島市新旭町北畑45番地1  
(子ども若者応援ベース内)

引っ越しました

TEL: 0740-25-8556  
FAX: 0740-25-8071  
相談専用 TEL: 0740-25-8555  
相談時間 9:00~17:00(月曜日~金曜日)  
★土日や時間外の相談を希望される方は、事前にご連絡ください。

